

2020年3月期第2四半期 連結決算ハイライト (IFRS)

■減収減益。四半期利益(親会社所有者帰属)の進捗率は46%と改善傾向。

◇収益	3,570 億円	0.1% 減収
◇営業活動に係る利益	147 億円	4.9% 減益
◇税引前四半期利益	142 億円	4.1% 減益
◇親会社の所有者に帰属する四半期利益	78 億円	3.5% 減益

損益の状況

(単位:億円)	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	前年同期比		2020/3期 見通し	
			増減額	増減率	見通し	進捗率
収益	3,575	3,570	△ 5	△0.1%	7,400	48.2%
売上総利益	541	550	8	1.5%	-	-
販売費・一般管理費	△ 390	△ 399	△ 10	-	-	-
その他の収益・費用	3	△ 3	△ 6	-	-	-
営業活動に係る利益	155	147	△ 8	△4.9%	310	47.4%
利息収支	△ 11	△ 13	△ 2	-	-	-
受取配当金	5	5	△ 0	-	-	-
その他の金融収益・費用	△ 1	△ 1	△ 0	-	-	-
金融収益・費用	△ 7	△ 9	△ 2	-	-	-
持分法による投資損益	1	4	4	-	-	-
税引前四半期利益	148	142	△ 6	△4.1%	300	47.4%
法人所得税費用	△ 48	△ 44	4	-	-	-
四半期利益	100	98	△ 2	△2.1%	-	-
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	81	78	△ 3	△3.5%	170	45.9%

【収益】
食料セグメント等では増収も、鉄鋼・素材・プラントセグメント、電子・デバイスセグメントで減収となり、全体で5億円の減収。

【営業活動に係る利益】
電子・デバイスセグメントでは増益も、全体では8億円の減益。

【税引前四半期利益】
営業活動に係る利益の減少により、6億円の減益。

【親会社の所有者に帰属する四半期利益】
税引前四半期利益の減少に伴い、3億円の減益。

1株当たり四半期利益 (円)	96.32	93.53	△ 2.79	△2.9%	202.93	45.9%
----------------	-------	-------	--------	-------	--------	-------

セグメント情報

(単位:億円)	収益			営業活動に係る利益		
	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	前年同期比 増減	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期	前年同期比 増減
電子・デバイス	1,278	1,268	△ 9	81	93	12
食料	1,216	1,275	59	24	17	△ 7
鉄鋼・素材・プラント	681	625	△ 56	28	18	△ 9
車両・航空	339	340	1	18	13	△ 5
報告セグメント合計	3,514	3,508	△ 6	150	141	△ 8
その他(含む調整額)	61	61	0	4	5	1
総合計	3,575	3,570	△ 5	155	147	△ 8

【電子・デバイス】 減収増益
ICTソリューション事業は、製造業、流通業向けを中心としたサーバー、ストレージに加え、仮想化とセキュリティ分野におけるIT投資需要もあり、順調に推移。モバイル事業は、消費増税及び料金分離プラン導入前の駆け込み需要等もあり、順調に推移。電子機器事業はカードプリンター会社の前期での連結子会社化も寄与し、堅調に推移。

【食料】 増収減益
食糧事業は、食品大豆・米取引は好調であったものの、水産飼料取引が南米産魚粉価格の下落により苦戦。食品事業は、農産加工品取引が引き続き安定した需要に支えられ堅調に推移。畜産事業は、疾病や相場変動があったものの全畜種で堅調に推移。

【鉄鋼・素材・プラント】 減収減益
エネルギー事業は、国内取引を中心に堅調に推移した一方、鉄鋼事業は、引き続き通商問題等の影響により低調に推移。油井管事業は、油価低迷を背景に掘削需要が若干のスローダウン。プラントインフラ事業も中東向け取引の停止により減益。

【車両・航空】 増収減益
航空・宇宙事業は堅調に推移。車両・車載部品事業は、中東向け取引の停止により減益。

資産・負債及び純資産の状況

(単位:億円)	2019/3末	2019/9末	前期末比	
			増減	増減率
総資産	5,495	5,433	△ 61	△1.1%
グロス有利子負債(注1)	1,395	1,459	64	4.6%
ネット有利子負債	500	657	157	31.4%
自己資本(注2)	1,252	1,287	35	2.8%
内、利益剰余金	607	656	49	8.1%
内、その他の資本の 構成要素合計	112	97	△ 15	△13.7%
自己資本比率(注3)	22.8%	23.7%	0.9pt増加	-
ネットDER(注4)	0.40倍	0.51倍	0.11pt増加	-

【総資産】
有形固定資産の増加があった一方、営業債権及びその他の債権の減少等により、61億円の減少。

【有利子負債】
ネット有利子負債は157億円の増加。(内、IFRS第16号「リース」適用による影響等により、169億円の増加。)

【自己資本】
利益剰余金の積上げ等により、35億円増加。

自己資本比率は23.7%。
ネットDERは0.51倍の水準。
(IFRS第16号「リース」適用前ベースでは、0.38倍の水準。)

(注1)2020年3月期よりIFRS第16号「リース」が強制適用となったことに伴い、期首に約169億円のリース負債を認識したため、増加しております。
(注2)自己資本は、資本の「親会社の所有者に帰属する持分」 (注3)自己資本比率=自己資本/総資産
(注4)ネットDER=ネット有利子負債/自己資本

キャッシュ・フローの状況

(単位:億円)	2019/3期 第2四半期	2020/3期 第2四半期
営業活動によるCF	22	130
投資活動によるCF	△ 14	△ 52
フリーキャッシュフロー	8	78
財務活動によるCF	△ 44	△ 168
現金・現金同等物の増減	△ 36	△ 90

【営業活動によるCF】
営業収入の積上げ等により、130億円のキャッシュ・イン。

【投資活動によるCF】
有形固定資産の取得や敷金の差入れ等により、52億円のキャッシュ・アウト。

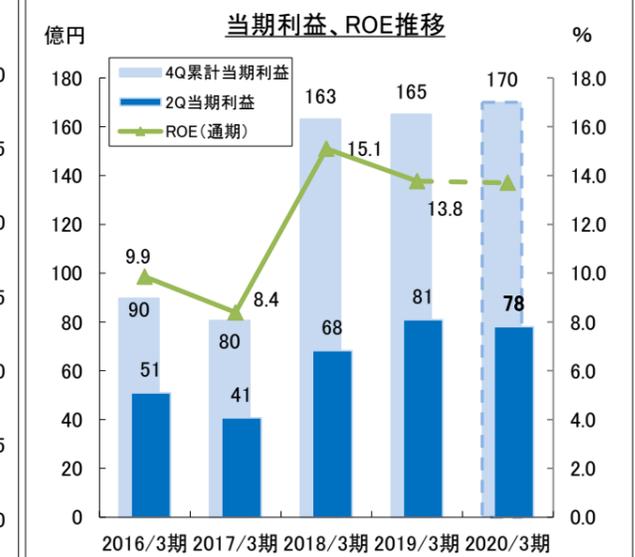
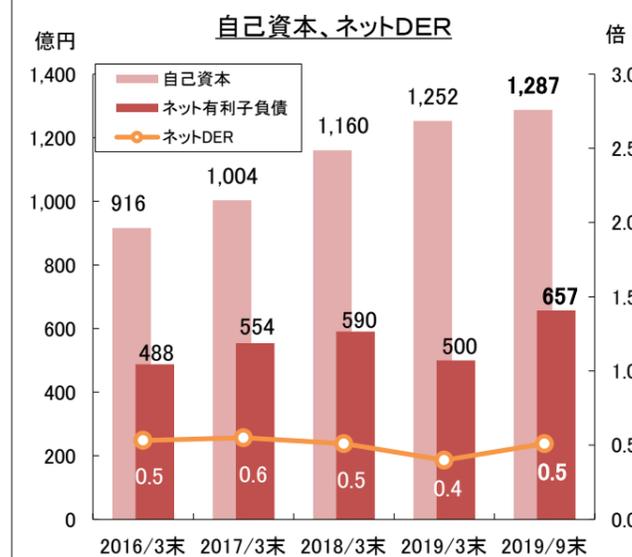
【財務活動によるCF】
借入金の返済やリース負債の返済、配当金の支払等により、168億円のキャッシュ・アウト。

(注) 2020年3月期よりIFRS第16号「リース」が強制適用となったことに伴い、営業活動によるCFは適用前より26億円の増加、財務活動によるCFは同じく26億円の減少となっております。

配当の状況

【2019/3期】	
中間配当	1株当たり 25 円
期末配当	1株当たり 35 円
年間配当	1株当たり 60 円
【2020/3期】	
中間配当	1株当たり 30 円
期末配当(予想)	1株当たり 30 円
年間配当(予想)	1株当たり 60 円

	2018/3期	2019/3期	2020/3期 (予想)
連結配当性向	24.8%	30.3%	29.6%



* 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
* 記載の数値は億円未満を四捨五入しておりますので、個別数値と合計数値が異なる場合があります。